

「考える」ということ

10年ほど前のことです。クラスの生徒たちの成績資料を保管する棚があるといいな、とふと思いました。イメージしたのは、B4判のプリントがちょうど入る引き出しがたてに50段ほど重なったプラスチック製。各引き出しに出席番号を書き込んでおけば三者面談のときすぐに該当生徒の対外模試成績表などを取り出せて便利だと思ったわけです。宮崎市内の某有名文具店に行って聞いてみると、そのような棚は置いていないとのこと。別の某文具店に行っても同じ返事でした。最後に寄ったのは江平五叉路近くの山崎文具店でした。ここもだめかなと思いつつも女性の店員さんに聞いてみると、私がそれをどう使うのかよく聞いた上で、お求めの棚はありませんがこれで代用できませんかと、別の商品を紹介してくれました。B4判の厚さ10センチ程度の箱でした。「ペーパーシスボックス」という名だそうです。中に二つ折りにした厚紙が25枚入っており、資料を挟み収納できるようになっています。これを二箱買って職員室の机の脇に置きました。スペースもとらず、軽くて私は大満足、以来これをずっと使っていますが、このボックスから資料を出し入れするたびに、あの店員さんのことを思い出します。彼女の対応で学ぶべきことは、私の話をていねいに聞き、何を求めているかを正確につかみ、在庫がないと分かった時点であきらめるのではなく、他の解決策はないか考えてくださったこと。結果として、彼女は店に利益をもたらしただけでなく、私という顧客を新たに与えたわけです。そして私はこの体験をこうやって人に語り、さらに店の利益に貢献することとなりました。ファミレス等に行くと、ロボットのようなマニュアルどおりの対応にうんざりすることがあります。明らかに私一人で入って来たのに「何名様ですか」などと訊かれると、悲しくなります。その点この店員さんは誠意ある態度でした。仕事に対する真剣さ、相手の立場に立って考える思いやり、そして「考える力」、つまり課題解決能力を持っている方だと思います。

ひるがえって3年生諸君、君達は今、受験生です。当面の目標は受験というハードルを越えて希望するところへ就職・進学を決めることです。しかし、受験を単なる点数競争ととらえてしまうと、合格のための受験テクニックだの暗記詰め込み学習ばかりを追いかけることになります。真の「考える力」を身につけていない受験生、そういう学校、そういう地域は結局受験においても最後にはこけるようです。それは体外模試のデータを見ていると良く分かります。私の机の左手にあるボックスを見て、あの穏やかで知的なたたずまいの店員さんのことを思い出しました。

K

週行事予定表 (12/3~12/12)

月	日	曜	行事予定	備考
12	3	土	全統プレテスト	7:20 登校
	4	日	全統プレテスト	7:20 登校
	5	月		7:25 着席 B
	6	火		7:25 着席 B
	7	水	薬物乱用防止教室	7:25 着席 B
	8	木		7:25 着席 B
	9	金		7:25 着席 B
	10	土		
	11	日	宮崎東高スクーリング	
	12	月		7:25 着席 A

